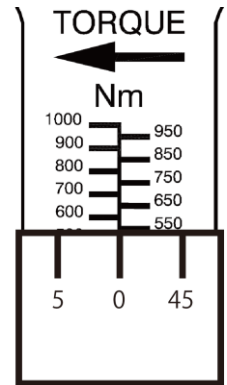
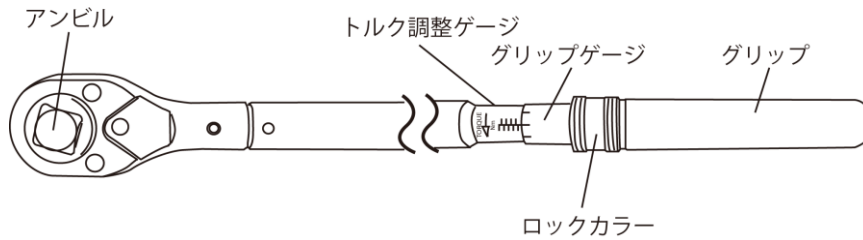


取扱説明書

トルクレンチ&センタースタンド セット

品番：#4125733000 型式：DW1033

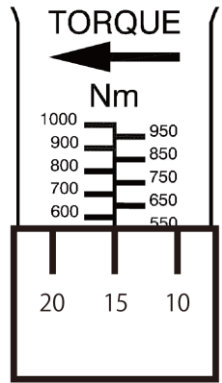
1, トルクレンチの部品名称



図【I】

2, トルクレンチの部品名称

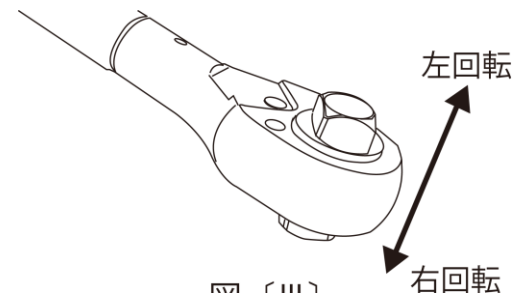
- ①アンビルにソケットを奥まで挿入してください。
- ②測定するトルクになるまで、**ロックカラーをグリップ側に押し込みながら**、グリップを回してください。この時、グリップゲージの『0』を、トルク調整ゲージの中央の線上に合わせてください。
- ③更にグリップを1目盛りずつ回して微調整してください。グリップゲージの1目盛りで5 N・m増減します。グリップを時計回転方向に回すとトルクが増え、反時計回転方向に回すと、トルクが減ります。
- ④例えば565 N・mに設定する場合、グリップゲージの『0』がトルク調整ゲージの550 N・mの線上になるよう、グリップを時計回転方向に回してください（図【I】参照）。次にグリップゲージの『15』がトルク調整ゲージの中央の線上になるまでグリップを時計回転方向に回してください（図【II】参照）。550 N・mに15 N・mを足して565 N・mとなり設定完了です。
- ⑤トルク設定後、ロックカラーを元の位置に戻してください（ロックカラーは自動で元の位置に戻ります。戻らない場合は、グリップを左右に少し回してください。）。
- ⑥アンビルを押し込む事で左右回転の切替が可能です。図【III】を参考に回転方向の切替をしてください。
- ⑦締め付けをしていくと「コクン」と音がして首がわずかに傾きます。これで測定トルクに達した事を表します。それ以上締め付けしないでください。



図【II】

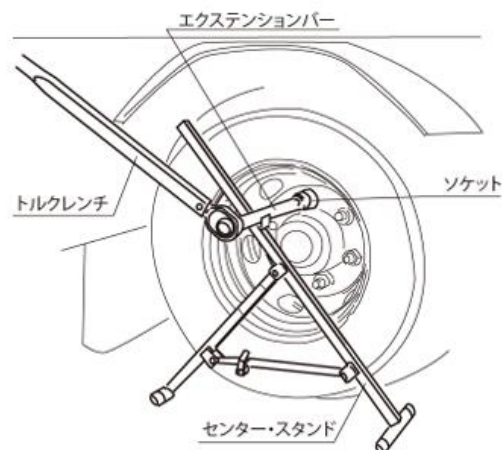
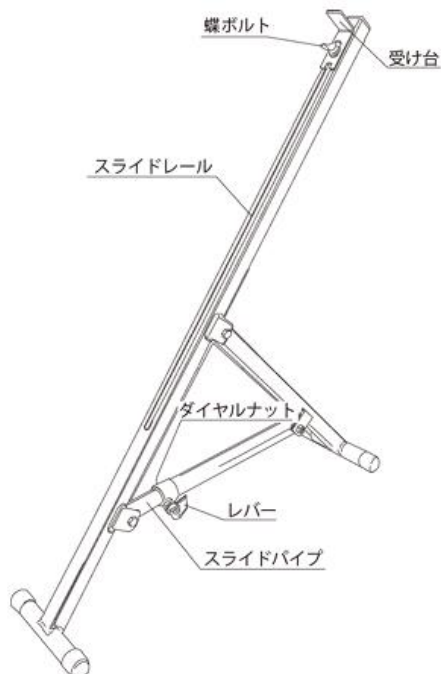
※トルク換算表

- ①1 Ft-lb=0. 138 kgf・m=1. 356 N・m
- ②1 N・m=0. 738 Ft-lb=0. 102 kgf-m
- ③1 kgf-m=9. 81 N・m=7. 23 Ft-lb



図【III】

3, センタースタンドの部品名称



4、センタースタンドの使用方法

- ①ソケットをエクステンションバーに差し込み、トルクを測定するホイールナットにセットしてください。
- ②レバーをスライドパイプと反対側に倒してフリーにし、エクステンションバーと受け台の高さが水平になるように、スライドパイプを伸縮させ高さ調整を行ってください。続いて、蝶ボルトを反時計回転方向に回して緩め、スライドレール上の受け台を任意の位置に移動させ微調整を行ってください。微調整後、蝶ボルトを時計回転方向に回して確実に締め付けてください。
- ③高さ調整後、レバーをスライドパイプ側へ**確実に倒してロック**してください。レバーのロック、フリーの作動調整は、レバーを持ってダイヤルナットを回してください。ダイヤルナットを時計回転方向に回すと作動が硬く、反時計回転方向に回すと作動が緩くなります。
- ④エクステンションバーを受け台に載せた状態でトルクレンチをセットして、トルクの測定作業を行ってください。

5、注意事項

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①**トルクレンチを使用して、絶対にボルト・ナット等を緩めない**でください。
- ②トルクレンチの保管時は、グリップゲージとハンドルの上に潤滑油を塗布し、低いトルク（200N・m）にセットしてください。
- ③トルクレンチの**トルク測定範囲は200～1000N・m**です。それ以外の範囲で使用しないでください。
- ④トルクレンチは1番低いトルク（200N・m）より下にグリップを回さないでください。故障の原因になります。
- ⑤トルクレンチが測定トルクに達し、**首が傾いた状態で、更に締め付けない**でください。
- ⑥本機は精密機器の為、衝撃等を与えないでください。
- ⑦本機を掃除する時は、洗剤を使用しないでください。
- ⑧トルクレンチに**延長パイプを差し込んで使用しない**でください。正確なトルク測定ができません。
- ⑨トルクレンチを**ラチェットハンドルとして使用しない**でください。トルク測定する時のみ使用してください。
- ⑩トルクレンチのグリップを握って、トルクを掛けてください。他の場所を握って操作すると、正確なトルク測定ができません。
- ⑪トルクレンチを振り回したり、投げたりしないでください。
- ⑫本機を雨に濡れる場所で使用、及び保管をしないでください。
- ⑬センタースタンドは傾斜面、軟弱地では使用しないでください。**転倒の危険**があり、正確なトルクで締め付け出来ません。必ず舗装された路面で使用してください。
- ⑭センタースタンドの**蝶ボルトの緩め過ぎには注意**してください。緩め過ぎるとナットが本機内に脱落します。
- ⑮本機に破損、変形、及び異常がある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ⑯本機使用中は、**車が動かない様に必ず、サイドブレーキを引いて**ください。
- ⑰本機の分解、修理、改造はしないでください。本来の能力を発揮出来なくなる恐れがあります。
- ⑱センタースタンドはトルクレンチのセンター出し、及びサポートをするスタンドです。その他の用途には使用しないでください。
- ⑲センタースタンドを振り回したり、**踏み台として使用しない**でください。
- ⑳センタースタンドのスライドパイプの伸縮時や、受け台の位置調整時に、手や指等を挟まない様に、十分注意してください。

